

秋播き

ミズナ栽培情報

ミズナ(水菜)は京都で発達した菜類で、関東ではキョウナ(京菜)とも呼ばれています。古来から煮炊き用途が中心でしたが、近年、癖のなさやシャキシャキした食感からサラダ用食材として普及し、今では和洋中のさまざまな料理に使われるようになっていきます。また、ミズナはビタミンA・C・E、カルシウム、リン、鉄、葉酸、植物繊維などが豊富に含まれていて、栄養的にも大変優れた野菜です。

1. 秋播きミズナ菜栽培暦

品種名：京みぞれ(タキイ)

9月			10月			11月			12月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

圃場準備

播種

栽培管理

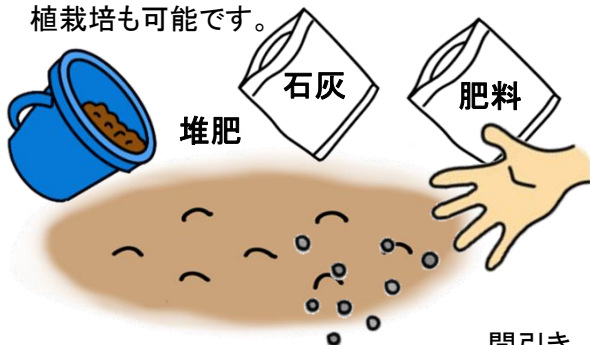
収穫



2. ミズナ栽培のポイント

【圃場準備】

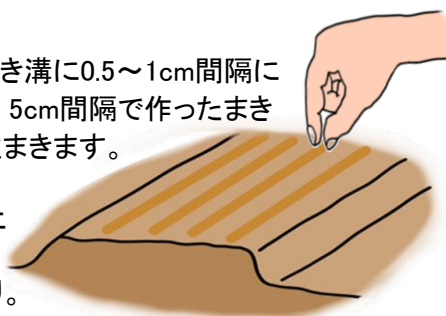
種まきの2週間以上前までに苦土石灰を散布し耕します。1週間前に堆肥と化成肥料を散布して再度耕し、畝を作ります。畝幅は80cm、高さは10cm程度にします。畑への直まきが基本ですが、トレイで育苗して移植栽培も可能です。



【播種】

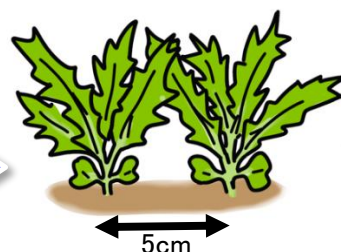
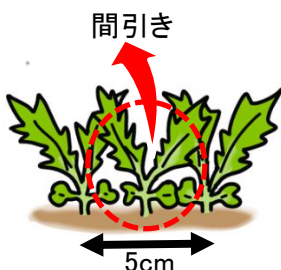
条間20cmで、まき溝に0.5～1cm間隔にスジまきするか、5cm間隔で作ったまき穴に種を3～5粒まきます。

- 土を5mmほど覆土して軽く手で押さえ、しっかり水やり。



【間引き】

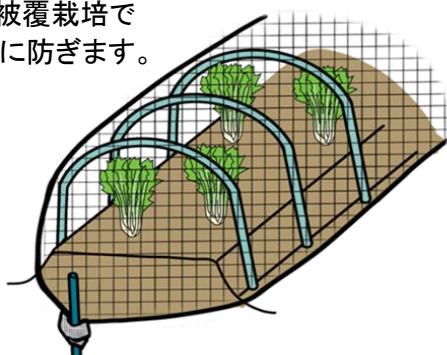
スジまきでは本葉3～4枚頃までに間引きながら、株間5cmにします。



- 収穫の目安：
草丈20～30cm

【病虫害対策】

ミズナで特に問題となるコナガ、アブラムシなどの害虫は、防虫ネットなどによるトンネル被覆栽培で物理的に防ぎます。



【収穫】

種まき後収穫までの日数は、秋冬期では70～80日前後です。家庭菜園では、間引き菜から利用できるもので、大きさにこだわらず、使いたい時に随時収穫するのがよいでしょう。



- 収穫は早めに！
株元を持って根ごと引き抜き、根のつけ根を刃物で切って収穫します。